

第4章 目標実現に向けた戦略

まちづくり 戦略

1

ポストコロナ社会に 柔軟で開かれた地域組織づくり 対応したり

中京区は、地域住民が主体的にまちづくりに取り組むという自治意識を脈々と受け継いできました。しかし、近年は、ひととひとのつながりが希薄になりつつあり、地域コミュニティ活動への参加が減少している傾向にあります。また、コロナ禍を機に新しい地域活動のあり方が模索されています。

中京区の住民自治の歴史と伝統のなかで培われた「地域力」を未来に引き継いでいくために、自治会・町内会の活動を支援し、地域コミュニティの活性化を推進していきます。



① 開かれた地域組織づくりと新しい地域活動の模索

持続可能で活力あるまちづくりをめざして、開かれた地域組織づくりや地域情報の発信力強化に向けたさまざまな取組を支援します。また、オンライン会議の導入など、ICT（情報通信技術）を積極的に活用した新しい地域活動を支援するとともに、新たな行政サービスの構築に向け、マイナンバーカードの普及促進をはじめとした行政のデジタル化を推進していきます。

<主要な取組>

- 自治会等の活動内容や地域の魅力等の情報発信の支援
- 自治会・町内会におけるSNS等を活用した先進的な情報発信事例の紹介
- スマートフォン活用やWi-Fi設置相談など、地域活動におけるIT化の支援

② 自治会・町内会への加入率の向上

地域コミュニティの基盤となる自治会・町内会に加入する意義や加入してよかった点等の事例をわかりやすく発信することにより、自治会・町内会への加入と地域活動への参加の促進を図ります。

<主要な取組>

- 自治会等の役割や地域活動についての効果的なPRの実施
- 自治会等の活動内容や地域の魅力等の情報発信の支援（再掲）
- 自治会・町内会の加入率向上や地域コミュニティへの参加促進に向けた取組への支援

③ 居住形態を超えた地域交流の促進

中京区では、マンション居住の区民が増えていますが、こうした居住形態にかかわらず、だれもがご近所との付き合いの大切さを再認識し、地域のまちづくりに積極的に参加したくなるような取組を支援します。

<主要な取組>

- 各学区のマンション防災活動への支援
- 自治会等に参加していない住民と参加している住民の交流事業への支援
- 自治会・町内会への加入に向けた地域とマンション等の開発事業者との連携の促進

身近なところから
始められる戦略実現のための
ポイントを提案するぞ！





④ 子ども・若者の地域参加と次世代の担い手の育成

子どもから高齢者まで、だれもが一緒に楽しく参加できるスポーツや文化活動、地域の祭り等を通して世代間交流を促進するとともに、若者にさまざまな行事の運営に参画してもらうことで次世代の担い手を育成し、地域コミュニティの活性化を図ります。

<主要な取組>

- 体育振興会によるスポーツ事業や地域の文化活動への支援
- 地域の歴史文化が体験できる地域の祭りや行事等への子どもや若者の参加促進

⑤ 新たな担い手の発掘と活躍できる場づくり

地域の個々人が培ってきたスキルや経験等を自治会組織の運営に生かすことで、さらなる地域住民の参加を促す好循環の流れにつながるよう、新たな担い手の発掘と活躍できる場づくりを進めます。

<主要な取組>

- 中京区版「地域人材バンク」など、スキルや経験等をもつひとが活躍できるしくみの検討
- 地域の歴史文化が体験できる地域の祭りや行事等への子どもや若者の参加促進(再掲)

⑥ 地域組織の新しいあり方の模索

地域コミュニティの担い手の不足や高齢化が進むなか、地域の枠組みを超えて連携の輪を広げることで課題解決を図ろうとする動きを支援していくことにより、「地域組織の新しいあり方」を模索するとともに、地域コミュニティの活性化を推進します。

<主要な取組>

- 自治会・町内会、学区、校区、行政区等のさまざまな単位での地域交流の促進
- NPO、事業者、大学等の多様な主体との連携の促進
- 大学との包括協定を生かした学生が地域課題の解決に取り組むしくみの検討



ココに
注目！

戦略
1

まずは一度
参加してみよう！

この戦略実現のためのポイントは、区民の皆さんひとりひとりがお住まいの地域への愛情や関心をもって、何がしかのまちづくり活動に参加いただくことです。

自治会や町内会への加入や活動については、時間の制約や、新旧住民同士のコミュニケーションの取り方など、参加しづらいと感じておられる方もおり、また、「忙しいから無理」、「わたしには関係ない」という意見もあります。しかし、**お住まいの地域のイベントや集まりに参加してみれば、思った以上に地域との絆が生まれるのではないのでしょうか。**

そもそも自治会や町内会は、とても大切な役割を担っています。もしも自治会や町内会がなかったら、ごみの収集場所が決まらず家の前にごみ袋が放置されたり、地震で自宅が壊れても避難所が開設されるのは数日後になる可能性もあります。**「面倒なことはだれかがやればいい」というひとばかりになれば、安心してらせるまちを築くことはできません。**

だからこそ、心地よくらせるまちの生活を根本から支えていくために、**まずは一度、自治会や町内会の活動に参加してみてください。**子育て世代のファミリーがたくさん参加している手作り市やバザー、子どもから高齢者まで一緒に参加できる美化活動、さらには地元のお祭りなど、仕事帰りや休日に気軽に参加しながら、どんなひとが同じ地域でくらしているのか、地域がどんな活動を通して安心・安全を守っているのか、またお互い支え合うことが何かないか等々…。きっとまちの見え方が変わると思います。



まちづくり
戦略

2

だれもが互いに認め合い、 支え合えるコミュニティづくり

少子化や長寿化、家族形態の変化等を背景に、地域の福祉的課題は複雑化、複合化しています。こうした課題を抱えたひとが、地域や社会から孤立することがないように、地域のつながりのなかで、より多くの区民が支え合いにかかわることができる地域づくりが求められています。

中京区の強みである地域力を基盤として、世代や分野を超えて、すべてのひとや団体が、それぞれのくらしや活動のなかで、生きがいとともに作り、お互いを尊重し合うことのできる、だれもが健やかでいきいきと笑顔あふれる地域共生社会の実現をめざします。



とくに、コロナ禍にあって、地域活動が縮小され、社会的に弱い立場にあるひとがますます孤立化したことから、地域のつながりの重要性が改めて浮き彫りになったのじゃ。

① 地域で取り組む健康長寿のまちづくり

ひとりひとりが正しい知識をもち、それぞれのライフステージや状況に応じて、主体的に健康づくりに取り組める環境づくりを進めます。また、「新しい生活スタイル」にも対応した食育や運動等の健康づくり活動を支える地域のボランティアリーダーの育成や活動の充実を図り、区民がお互いに高め合う地域ぐるみの健康づくりを推進します。

<主要な取組>

- フレイル^{※1}対策など、健康づくりに関する情報発信、学習会の開催
- 地域の福祉団体や体育振興会が取り組む健康づくりの取組への支援
- 地域で健康づくり活動を支援するボランティアの育成

② 人権文化の息づくまちづくり

最近ではインターネット上での人権侵害や新型コロナウイルス感染症をはじめとした感染者患者への差別や偏見等の新たな人権問題が顕在化しています。男女共同参画や障害者福祉の推進等をはじめとした共生社会の構築に向け、これまで行ってきた地域ぐるみの取組を一層推進することで、ひとりひとりが日々のくらしのなかでお互いを認め合い、多様性を尊重する人権文化の息づくまちづくりを推進します。

<主要な取組>

- 多様性を尊重する人権文化の構築に向けた情報発信による啓発や人権擁護委員と連携した相談体制の強化
- 青少年活動センターや男女共同参画センターと連携した若者への相談対応
- ひとと動物との共生を推進する動物愛護や飼育マナー等の普及啓発

③ 誰一人孤立させない地域づくり

ひきこもり、8050問題、生活困窮など、地域にはさまざまな理由で、生きづらさを抱えているひとがいます。誰一人孤立のない地域をめざし、地域で当事者の課題に「気づき」、「関心をもち」、「互いに認め合える」関係をつくり、地域での支え合いの充実や公的支援・サービスに円滑につながることのできる、お互いに助け合えるコミュニティづくりを推進します。また、コロナ禍で普及が進むICT（情報通信技術）を活用した支援やコミュニケーション等に対応できないひとが取り残されないよう取り組んでいきます。

<主要な取組>

- 当事者の課題への理解と意識の向上につながる啓発の実施
- 地域の福祉団体等が取り組む見守り活動への支援
- 地域における福祉活動の担い手の育成

※1「フレイル」加齢により心身が衰えた状態。ただし、早期に対策を行えば元の健常な状態に戻る可能性がある。



④ 世代を超えた地域交流の促進

共働き世帯が増え、世帯人数が減少するなか、親の介護と子育てを同時に抱えるなど、複雑化、複合化する生活課題に個々の家庭だけで対応していくことは難しくなっています。地域全体で支え合う相互扶助の実現をめざし、身近な地域の顔が見える関係づくりにつながる「世代を超えた地域交流」を促進します。

<主要な取組>

- 地域における交流の場づくりや交流事業への支援
- 地域における支え合い活動の周知・啓発の推進

⑤ 支援者ネットワークの強化と連携

多様化する地域の福祉ニーズに対応するには、障害者福祉、介護、子育て等の各分野で活躍する関係者が連携していくことが重要です。中京区地域福祉推進委員会が進める「福祉のまちづくり体制整備事業」など、既存の関係者の連携を深め、ネットワークを強化するとともに、大学、企業、NPO等の多様な主体との連携、協働を促進します。

<主要な取組>

- 支援者ネットワークの強化と連携による分野横断的な支援体制の充実
- 多様な主体が連携・協働して取り組む活動への支援

⑥ 将来の担い手を育み、コミュニティをつないでいく学びの場づくり

今後より一層、地域における相互扶助が重要になってくるなか、現在の福祉的課題への対応と並行して、将来の担い手を育成していくことが重要です。子どもや若者も含めた次の世代の担い手が、当事者と出会い、課題に気づく機会をつくっていくことで、地域で育まれてきた支え合いのコミュニティを継承していきます。

<主要な取組>

- 学校や地域団体等と連携した子どもたちへの学びの機会の創出
- 地域における福祉活動の担い手の育成(再掲)



戦略2
互いに認め合い、
助け合う！

「人権」や「福祉」はとても身近な問題です。女性、子ども、高齢者、障害のあるひと、LGBT^{※2}等の性的少数者、外国人等に対する差別や虐待など、さまざまな問題があります。さらに最近では、だれもが安易に書き込めるインターネット上での誹謗・中傷といった、新たな問題も起こっています。

こうした問題は「自分には関係ない」と思っているひとも多いと思いますが、**だれもが差別する側、される側のどちらの当事者にもなってしまう可能性があります。**

「差別してはいけない」ということは当たり前のことですが、なかには、誤った「正義感」や「慣習」から無自覚に差別をしてしまっている事例もあります。新型コロナウイルス感染症の拡大で社会に不安が広がるなか、防衛本能が過剰に働き、やむを得ない理由で帰省するひとやマスクをしていないひとを攻撃する「自粛警察」や「マスク警察」と呼ばれる行動が問題になりました。行動に移す前に少し立ち止まり、自分の行為がもたらす影響の大きさや相手の立場に**立って考えることのできる「想像力」をもつことができれば、こうした問題の多くは防ぐことができるのではないのでしょうか。**

人間は社会的存在であると言われています。ひとりひとりが、**日々のくらしのなかでお互いのことを知り、認め合い、助け合っていくことが大切です。社会をつくるのは、ひとりひとりの意識や行動です。だれにとっても住みよい地域を一緒につくっていきましょう。**

※2 [LGBT] レズビアン (Lesbian) ・ゲイ (Gay) ・バイセクシュアル (Bisexual) ・トランスジェンダー (Transgender) の頭文字をとった言葉で性的少数者の総称のひとつ

まちづくり
戦略

3

地域ぐるみでの子育て環境の充実

子育てをめぐるっては、世帯規模の縮小や地域コミュニティの希薄化等による保護者の孤立化、仕事と子育ての両立の難しさなど、さまざまな課題があります。

地域ぐるみで子育て支援体制を強化するとともに、子どもたち自身の成長や子育てを通じた保護者の学びを後押しすることで、保護者が不安を抱えず楽しみながら子育てができる環境づくりを進めます。



① 安心して子育てができる環境づくり

安心して子どもを生み育てていく環境をつくるには、子育てをする保護者の不安や悩みを解消し、負担を減らしていくことが必要です。子どもを生み育てることの素晴らしさを、将来、親となる世代も含め社会全体が実感できるよう普及啓発に取り組むとともに、地域団体や関係機関、大学等とも連携しながら妊娠から出産、育児まで切れ目のない支援体制の充実を図ります。

<主要な取組>

- 子育てに関する情報発信・講座の充実
- 不妊・不育への支援、妊産婦・新生児の家庭訪問やICT（情報通信技術）の活用も含めたさまざまな機会での相談など、子育て支援体制の充実
- 子育て世代が交流できる機会の提供

② 地域における子育て支援活動の活性化

中京区には、子どもたちを「社会の宝」として地域全体で育てていく、といった「人づくりの伝統」が脈々と受け継がれ、今も地域に根付いています。子育てサロン等の地域主体の子育て支援活動の活性化を図り、地域全体で子育て家庭を温かく見守り、支え合う、子育てしやすいまちづくりを推進します。

<主要な取組>

- 保健師や保育士等の専門職の派遣や大学等との連携による地域の子育てサロンへの活動支援
- 地域の子育て支援団体やボランティア団体への活動支援

③ 子どもの学びを応援する多様なしくみづくり

子どもたちが健やかに育ち、社会のなかで生きる力を身につけていくには、子どもの頃から地域社会の一員として愛され、多様な世代との交流のなかで社会のルールや支え合いの気持ちを身につけていくことが重要です。学校や関係機関との連携の下、地域における子どもたちの居場所の確保やスポーツ、伝統文化、防災等のさまざまな地域行事への参加を支援することで、次の世代を担う子どもたちの学びを後押しします。

<主要な取組>

- 学校や児童館をはじめ、子ども食堂等を運営する団体とも連携した地域における子どもの居場所づくりの推進
- 地域行事への子どもたちの参加促進

④ 子育てから広がる学びの環境づくり

子育ては、次世代の担い手を育てるだけでなく、保護者にとっても子育てを通じた学びの機会であり、新たなことに挑戦し、知識を広げるきっかけとなります。子育て世代の交流促進や親子で一緒に参加できるイベントの実施等により、親子でともに学び、成長できる環境づくりを進めます。

<主要な取組>

- 親子で区内の歴史や文化を学べる機会の提供
- 子育て世代が交流できる機会の提供 (再掲)

⑤ 子育てネットワークの充実

子育て世帯の孤立化をはじめさまざまな課題に対応するには、地域団体、NPOや福祉団体、学校等の関係者の連携が重要です。子育てを支援する関係機関の連携を深め、ネットワークの充実を図るとともに、大学や事業者等の多様な主体との連携、協働を促進していきます。

<主要な取組>

- 関係機関・団体のネットワークの強化とさらなる連携の拡大
- 地域の子育て支援活動と多様な主体の連携促進



戦略3
子育ては「みんなごと」で！

「子育て」は、子どもと一緒に時間を楽しむことでさまざまなことを一から勉強し直し、自分も成長できる機会でもあります。最近では男性が「子育て」を楽しみながら、自身の興味の幅を広げ、人生を謳歌する「イクメン」という言葉も定着してきました。

しかし、核家族化の進展等により頼れる方がおらず、夜泣きが続いて睡眠不足になったり、言うことを聞かない我が子に困り果てたりしたときは、どうすればいいのか悩むことも多いと思います。

そんなときは思い切って周りのひとに相談してみてもはどうでしょう。何も「子育て」の悩みは親だけで抱え込む必要はないのです。子育ての大先輩である隣のおばあちゃんや「公園デビュー」をきっかけに子どもを介して知り合った近所のひとなど、中京区には子どもたちを「社会の宝」として地域全体で育てていく伝統が今も根付いています。

そして、子どもの成長には周囲からの働きかけが欠かせません。たとえば、近所の子どもたちにあいさつすることも立派な「子育て」のひとつです。あなたのちょっとした行動が、子どもたちを健やかに育て、子育て家庭を支えることにつながります。

地域で子どもたちを温かく見守るまちづくりが進めば、女性の生き方や子どもたちの可能性も広がり、家族のあり方や地域とのかかわり方も豊かになります。自分の子どもがいるひともいないひとも、だれもが「みんなごと」として「子育て」に参加することで、社会全体で子どもたちを育てていきましょう。



まちづくり
戦略

4

個性あるまちづくり 地域ごとの歴史文化を生かした

中京区では、地域ごとに伝統行事が脈々と受け継がれてきたことで、まちに一体感が醸成され、地域のまとまりが生み出されてきました。また、かど掃き、打ち水等のくらしの文化や地域の伝統産業とも一体となり、京町家や「通り」が織りなす個性豊かな景観を形成しています。

こうした区民が愛着心をもって大切にしてきた歴史文化を未来に継承するとともに、地域の個性を生かしたまちづくりに取り組んでいきます。



① 歴史文化の再発見と継承

地域の歴史文化は、地域の誇りであり、地域の個性や特徴を体現しています。子どもたちが地域に息づく歴史や、くらしのなかに継承され根付いている文化を再発見し、身近に感じる機会をつくるなど、それらに愛着をもち、守り、育てるきっかけになる取組を行うことで、地域の歴史文化を次の世代へと継承していきます。

<主要な取組>

- 地域のくらしの文化に関する学習会やイベントの実施
- 親子で地域の祭りや伝統行事を楽しめる取組への支援
- 地域の伝統的な祭りやくらしを支える「木の文化」の大切さを学べる機会の創出

② 地域個性の再認識と発信

中京区の豊富な歴史文化は、長い年月のなかで多くの来訪者との交流により育まれてきました。こうした地域の個性を再認識するとともに、だれもが憧れ、移り住み、住み続けたいと思えるまちをめざし、その担い手や守り手を支援するとともに魅力を内外に発信する取組を推進します。

<主要な取組>

- 地域の文化資源を巡るまち歩きツアーの実施
- 元離宮二条城をはじめとする地域の歴史遺産や文化の担い手支援と魅力の発信
- 地域の魅力を発信する担い手の発掘と活躍の場づくり

③ 伝統産業の活性化

茶道や華道等の文化活動が盛んな中京区では、文化や芸術と密接に結びつきながら、日々のくらしのなかに伝統産業品が溶け込んでいます。区民が気軽に「作り手」である職人の匠のわざや心に触れ、伝統産業をより身近に感じる機会をつくることで、「ホンモノ」があるくらしを次の世代に継承していきます。

<主要な取組>

- 伝統産業を体験・見学できる工房見学ツアーの実施
- 現代の生活に伝統産業品を取り入れる実践例の発信
- 伝統産業を通じた環境問題の意識啓発の推進

④ 通りの復権による歩いて楽しいまちなかの創出

四季の移ろいを大切にするくらしの文化が根付く中京区では、「通り」はくらしや催事が営まれるひとびとが集い華やぐ舞台です。安心・安全、快適で魅力的なまちなかをめざす「通りの復権★」の取組を進め、区民はもとより訪れたひとのだれもが、歩いて楽しいと実感できるまちづくりを推進します。

<主要な取組>

- 「通り」やくらしの文化に関する情報の発信
- 地域の団体や学校と連携した「通り」の安全を確保する取組の推進

★通りの復権 P16参照

⑤ 景観を生かしたまちづくり

京町家等の建物や緑がある美しい町並みは、長い年月をかけて地域の歴史や文化と一体となり形成されてきた地域の財産です。各地域で行われてきた調和のとれた景観保全の活動に学び、先人たちの残した貴重な財産を次の世代に引き継ぐ取組を推進するとともに、まちの魅力や活力を高める新たな景観の創造をめざし、対話と協働のまちづくりを進めていきます。

<主要な取組>

- 地域景観づくり協議会の活動など、地域で展開される取組の発信
- 町並みを生かした景観まち歩きや文化講座など、地域の交流事業の支援



戦略4 日々のくらしに彩りを!

この戦略を実現するには、ひとりひとりがお住まいの地域の歴史文化を日常生活のなかで「楽しむ」ことが重要です。

たとえば、節分、七夕等の年中行事や地域の祭りは今もわたしたちのくらしに根付いています。これらは、わたしたちが日常生活を送るうえで、季節の移り変わりを身近に感じ、より深く楽しむために欠かせません。

また、現在では伝統産業品は、特別な行事に用いられるものというイメージが強く、普段の生活ではあまり馴染みがないかもしれませんが、以前は各家庭で身近なものとして、日々のくらしのなかで使われていました。

地域の歴史文化や季節ごとの行事、伝統産業品の由来等を調べてみれば新たな発見があり、実際に参加してみたり、使ってみれば、日々のくらしがより深く、豊かで楽しいものになるかもしれません。

最初は、食卓に一輪の季節の花を飾る、献立に一品だけでも旬のものを取り入れる、地域の祭りに参加してみる、扇子を使う時には京扇子を選んでみるなど、歴史や文化を少しだけ意識し、日常生活のなか楽しく取り入れることから始めてみてはいかがでしょうか。



まちづくり
戦略

5

商い・ものづくり・学問の
つながりが生み出すにぎわいづくり

中京区は、市内で最も多くの事業所がある経済活動の中心地であり、魅力的な個店で構成された商店街の活動が活発な地域です。地域に根差して活動する地域企業も多く、さらに、近年は、社会的な課題解決をめざすソーシャルビジネスを展開する企業やスタートアップ、起業する学生の活躍も増えています。

今後も多様な主体が活躍する中京区の強みを最大限に発揮し、ポストコロナ社会への対応も含め地域や社会のさまざまな課題の解決に取り組むなかで、スタートアップ・エコシステムの形成による全国に発信できるような、先導的な課題解決のモデルづくりにも挑戦していきます。



① 魅力ある個店の集積を生かしたまちづくり

魅力的な個店が集積する中京区では、事業者が互いに切磋琢磨し、「京もの」に代表される質の高い商品が提供されてきました。地域に根づく目利きの力によって、事業者を応援する文化を継承していくことで、「にぎわいと華やぎのある都心商業」の振興を図ります。

<主要な取組>

- 伝統産業体験など、次代を担う若者の目利き力を養う取組の推進
- 新たな魅力を創造する若手事業者や老舗の挑戦的な取組の発信

② 協働による商店街の活性化

商店街は、区民の日常のくらしを支えるとともに、地域住民、学生、事業者等の多様なひとびとが集まるコミュニティの場として、地域の祭りや行事の継承・発展にも大きく貢献してきました。コロナ禍で、商店街の果たす役割にますます期待が高まるなか、商店街を核とした協働の取組を支援することで、にぎわいのあるまちづくりを推進していきます。

<主要な取組>

- 商店街が学生や地域住民を巻き込んで実施するまちづくり活動への支援
- 区民のくらしを支える商店街の利用の呼びかけやにぎわいづくりへの支援

③ 大学との連携

「大学のまち京都・学生のまち京都」では、国内外から集まる学生がキャンパスを飛び出すことで学びを深めるとともに、まちの活性化に貢献してきました。大学の有するひと、知識、情報等の資源をまちづくりに生かすべく、地域団体や産業界との連携を促進していきます。

<主要な取組>

- 市民向け講座など、大学の実施する地域貢献イベントとの連携
- 大学の教育・研究活動や地域活動を望む学生と地域団体等とのマッチング

4 地域企業との連携

中京区内には地域の祭りや福祉等の地域活動を支える企業が多数存在し、まちづくりの担い手として活動しています。こうした地域企業の取組を見える化することで、地域内雇用につなげるとともに、環境や防災等の分野において地域で活躍するNPO等の市民活動との連携を図ることで、企業のまちづくり活動へのさらなる参画を促進します。

<主要な取組>

- 次代を担う若者が地域企業と交流する機会の創出
- 地域企業と住民、NPO、学生等とのオープンな対話により地域課題を解決するための新たな商品・サービスの開発に向けた場づくり
- 地域企業による公園等でのイベントの開催など、公共空間を活用したにぎわいづくりの推進

5 スタートアップ・エコシステムの形成と社会課題解決型ビジネスの集積

近年、中京区内では新たなビジネスモデルで急成長をめざすスタートアップ企業や社会課題解決を目的に新しい事業を展開する社会的企業が活躍しています。産学公連携に市民も加えた多様な主体が協働できる場づくりを進めることでネットワークを構築し、相互に連携・発展していく「スタートアップ・エコシステム」を形成することにより、地域課題や社会課題の解決につながる多くの新しいビジネスアイデアが生まれるまちをめざします。

<主要な取組>

- 社会的企業との連携によるアントレプレナーシップ^{※1}教育等の推進
- 地域課題や社会課題解決のための多様な主体が集い協働・協創する場の創出

※1「アントレプレナーシップ」チャレンジ精神、創造性、探究心等の「起業家精神」や、リーダーシップ、コミュニケーション力等の「起業家的資質・能力」



ココに注目!

社会のさまざまな課題の解決につながる新たな発想やアイデアを生み出すには、ひとりひとりが日常生活の些細な疑問や発見、気づきを大切にするとともに、それを皆と共有することが重要です。

たとえば、企業のヒット商品のなかには、お客さんの声から生まれたものがたくさんあります。まちの商店でも、お客さんの反応や気づきが、新たな商品やサービスを生み出すことに役立ち、高い品質を維持することに貢献してきました。

また、まちづくりの分野でも、「まちの復興が進んだ」、「商店街が活性化した」等の成功事例のなかには、「若者」や「よそのひと」のかかわりがポイントとして挙げられていることがあります。周りのひとと違った視点や発想から生まれた斬新なアイデアや意見が、解決困難と思われた課題を突破するきっかけになり、多くのひとの共感を呼び、大学や企業をも巻き込んだ大きな動きを生み出した事例もあります。

ポストコロナ社会への対応をはじめ、今後も地域や社会には解決すべき課題が山積しています。今までの常識ではありえない事態も起こってくるでしょう。こうした課題を解決するには当事者や専門家だけでは行き詰ってしまう場合もあります。そんなときには異なる分野の意見や閃きを取り入れた発想の転換が必要です。だからこそ、ひとりひとりの気づきは、大切な宝の種なのです。

戦略5
あなたの気づきが
社会を変える?!



まちづくり
戦略

6

安心・安全に住み続けられるまちづくり

中京区は、平安建都以来、戦乱や災害、疫病等のあらゆる危機を乗り越え、地域の結束力に磨きをかけてきましたが、現在においても、防犯や防災、感染症対策、交通安全、空き家対策等のさまざまな課題に直面しています。こうした課題を克服するには、多様な主体が相互に連携・協力し、協働することが必要です。

中京区が誇る、高い「地域力」、「市民力」を結集・発揮することで、今後もだれもが経験したことのない危機的状況が起こったとしても、安心・安全に住み続けられるまちづくりを推進します。



① 安心・安全ネットワークの充実

安心・安全な地域づくりには、地域住民、事業者と区役所、警察、消防、学校等の関係機関の連携が欠かせません。防犯や防災、感染症対策、子どもの安全、地域福祉等の幅広い分野で、それぞれの組織の強みを生かした取組を展開することで、地域の安心・安全ネットワークの充実を図り、多様な課題に柔軟に対応できるまちの実現をめざします。

<主要な取組>

- 区内の関係機関と地域、事業者が連携した安心・安全の取組の実施
- 地域における防犯活動や見守り活動への支援

② 防災・減災に向けた日常的な協力関係の構築

災害発生時は、自分自身の身を守る「自助」とともに、近所のひとたちと協力しながら地域の安全を守る「互助」や「共助」の取組が重要です。日頃から住民同士の顔が見える関係づくりを後押しするとともに、自治連合会や自主防災会、消防団をはじめ地域の事業者や商店街等と連携して、まちの危険箇所の対策や避難所運営訓練を行うなど、地域における防災・減災の取組の支援を強化します。

<主要な取組>

- 感染症の影響も想定した防災対策の確立と地域住民による実践型防災訓練の開催支援
- 要配慮者（乳幼児や妊産婦、高齢者、障害者等）の避難支援の取組の促進

③ 歩行者優先のまちづくりと交通マナーの確立

安心・安全で、日々のくらしや生業の空間として魅力的なまちなかをめざす「通りの復権★」を実現するには、まずはクルマ中心の単なる通過空間ではない「歩くこと」を中心としたまちに転換することが重要です。

高齢者や障害のあるひとをはじめ、だれにとっても快適な歩行者優先のまちづくりをめざし、クルマや自転車の交通ルールへの順守やマナー向上の取組を推進します。

<主要な取組>

- 親子で楽しく交通ルールやマナーを学べるイベントの開催
- 地域の団体や学校と連携した「通り」の安全を確保する取組の推進（再掲）

★通りの復権 P16参照

④ 観光客へのマナーの普及

中京区には、国内外から多くの観光客が訪れる一方、京都の文化や習慣に対する理解が十分に浸透していないため、トラブルが発生するケースも見られます。ポストコロナを見据え、旅行事業者や宿泊事業者等の関係者と連携し、観光客へのマナーの普及を図ることで、市民生活を最優先に、安心安全、豊かさの向上、地域文化・コミュニティの継承・発展につながる「市民生活・地域コミュニティと観光の更なる調和」を推進します。

<主要な取組>

- 観光資源の魅力の背景にあるくらしの文化の発信
- 観光関連事業者等と連携した観光客に対するマナー情報の発信

⑤ 空き家活用の促進

老朽化した空き家の放置により、生活環境や景観の悪化、防犯・防災上の課題が生じています。一方で、空き家は、将来の住まいやオフィスなど、まちの活力を生み出す貴重な資産にもなります。課題解決のために、必要な情報の発信を強化するなど、空き家の活用と解消を促進していきます。

<主要な取組>

- 司法書士等の専門家と連携した情報発信
- 空き家の適正管理対策と活用に取り組む地域への支援
- 区役所での空き家等活用相談窓口の実施



戦略6 日頃から「顔の見える関係」を!

この戦略を実現するには、ひとりひとりが事前にできることを考え、備えておくことが重要です。

全国各地で大規模な災害が相次いでいます。御自身や知人が過去に被災したことがある方もいらっしゃるかもしれませんが、被災の経験がない方も、自然災害が頻発する今日の日本ではつねに被災者になる可能性があります。また、事件・事故もだれにでも起こりうることで、一方では被害に遭われた方からは「まさか自分が被害に遭うとは思っていなかった。」という声が多いのも実情です。災害や日常生活の危険について最悪の事態を想定し備えておくことは、自分自身や大切な家族を守るために必要です。

最近では、備蓄やハザードマップの確認など、事前の備えをされている方が増えています。また、地域の訓練に参加し役割分担を決めておくなど、「互助」、「共助」を意識した活動にも関心が高まっています。このように、ひとりひとりが事前にできることを考え、普段から周りのひとと協力して取り組んでいくことはとても重要です。また、災害対策だけでなく、交通事故や防犯対策、空き家の問題でも、事前に危険箇所の把握や改善に努め、隣家と日常的なコミュニケーションを図るなど、トラブルを未然に防ぐためにできることがあります。

「安心・安全」は、わたしたちのくらしや生命に直結する重要な問題です。いくら備えても、備え過ぎるということはありません。また、最終的にみずからのいのちを守るのは自分自身ですが、ひとりでは限界もあります。普段から隣近所や地域のなかでお互いに助け合えるよう、「顔の見える関係」をつくっていきましょう。



まちづくり
戦略

7

持続可能な
ライフスタイルの
継承・発展

地球温暖化は、自然災害の頻発や健康被害、水や食料不足に加え、生物多様性の損失をもたらすなど、わたしたちの暮らしにとって大きな脅威になりつつあります。50年後、100年後も持続可能なまちであり続けるには、ひとりひとりがこれまでの生活を見つめ直し、環境負荷を低減させるための具体的な行動を実践していく必要があります。

2050年までの二酸化炭素排出量「正味ゼロ」に向け、国内外から多くのひとが訪れる、伝統と進取の気風をもつ中京区から、環境に配慮したライフスタイルやまちなか緑化の取組を推進し、広く発信していくことにより、持続可能な社会の実現に貢献します。



① より環境負荷の低い消費・販売・生産活動への転換

限られた資源を有効利用し、持続可能なまちづくりを推進していくには、大量生産・大量消費・大量廃棄の社会構造を転換していくことが求められています。また、コロナ禍で停滞した社会や経済をよりよく立て直すには、地球温暖化の防止と消費・販売・生産活動の両立を図ることも重要です。

生産から消費、廃棄まであらゆる段階での意識と行動の変革をめざし、食品ロス対策といった2R^{※1}及びリニューアブル^{※2}や省エネルギー等の取組を事業所の集積する中京区から推進していきます。

<主要な取組>

- エシカル消費（倫理的消費）[★]など、環境に配慮した消費行動の普及啓発
- 森林資源の持続的な利用など、ひとと森林のかかわりの最大化をめざすグリーン成長[★]の促進
- 家庭・事業所での太陽光発電や雨水利用の普及など、省エネルギーの取組促進

② 昔ながらの暮らしの知恵の再発見

通り庭等のさまざまな工夫が施された京町家や、ものを大切にする「しまつの心」など、中京区には、快適に過ごすための「暮らしの知恵」が受け継がれています。こうした先人の知恵に学ぶとともに現代の最新技術との融合を図っていくことで、無理なく、少しの手間や工夫で環境負荷を抑えた快適な暮らしの実現をめざします。

<主要な取組>

- しまつの心やおばんざいの食文化など、「暮らしの知恵」の発信
- 家庭や地域で実践されているエコ活動の先進事例の発信
- 伝統産業を通じた環境問題の意識啓発の推進（再掲）



グリーン成長

森林の適正な管理と、森林資源の持続的な利用等により、林業・木材産業が内包する持続性を高めながら成長発展させ、ひとびとが森林により発揮される多面的機能の恩恵を享受することを通じて、社会経済生活の向上とカーボンニュートラルに寄与すること

★エシカル消費（倫理的消費） P20参照

※1 「2R」 そもそもごみを出さないリデュース（Reduce）と再使用するリユース（Reuse）

※2 「リニューアブル（Renewable：再生可能資源の活用）」石油等の化石資源と比べて短時間で再生できる資源（再生可能資源：植物等の天然資源）を原材料として利用することで、資源の枯渇や温室効果ガスの発生を抑制するという考え方



③ 環境に配慮した交通手段の利用促進

公共交通機関が充実し、徒歩や自転車での移動も容易な中京区から、過度にクルマに依存しない生活の機運を高め、率先してエコな移動方法を選択する運動を展開することで、環境はもとより、健康にもやさしいまちをめざします。

<主要な取組>

- 過度にクルマに依存しないライフスタイルの普及啓発
- 自転車ルール・マナーの改善を呼びかける啓発の実施

④ 緑化とまちの美化の促進

身近な緑を増やすまちなか緑化の取組と、かど掃きや一斉清掃等の地域で活発に行われている環境美化活動を促進することで、環境にもひとにもやさしいまちづくりを進めます。

<主要な取組>

- 家庭や事業所における屋上やベランダ、庭先、沿道での緑化の促進
- 次代を担う子ども向けの緑化や生物多様性も含めた環境に関するイベントの開催
- 区民ぐるみで進める環境美化活動の促進



戦略
7
できることから始めよう!

持続可能な社会の構築に向けては、環境対策、とりわけ地球温暖化対策は急務となっています。地球温暖化の影響が深刻化する今日、我が国においても、2050年までにカーボンニュートラル、脱炭素社会^{※3}の実現をめざしており、また、京都市においても2050年までの二酸化炭素排出量「正味ゼロ」に取り組むこととし、わたしたちひとりひとりが、環境に配慮した生活を実践することが求められています。

皮肉なことにコロナ禍においては、経済活動の停滞で温室効果ガスが一時急減しましたが、一方では外出自粛やテレワーク等によって、テイクアウトやデリバリーの使い捨てプラスチックごみが大幅に増加するという問題も生じました。

このように、わたしたちの行動や生活スタイルの変化によって、環境対策は大きく変わります。**ひとりひとりが何を残し、何を変えていくのかをしっかりと意識しながら、それぞれのくらしのなかで工夫し、できることから続けていくことが、この戦略実現のためのポイントです。**

マイバッグやマイボトルを持参する、食材は使い切り食べ残しをしない、生ごみの水切りを徹底する、自転車や公共交通を積極的に利用するなど、**わたしたちにできることはたくさんあります。**また、坪庭や虫籠窓、打ち水や建具替えなど、京町家のしつらえや先人たちの知恵には多くの学ぶべきことがあります。

ひとりひとりが「じぶんごと」として地道な取組を続けていくことが、やがて大きな流れにつながっていくのではないのでしょうか。

※3「脱炭素社会」地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出源となる化石燃料の使用から脱却し、持続可能な発展が可能となった社会

